

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 27 年 9 月）

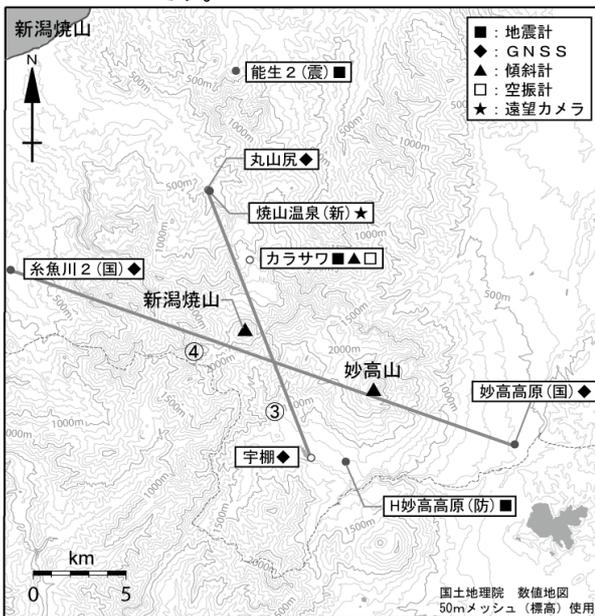
気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3 - ）
新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは概ね 200m以下で経過しています。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）
今期間、火山活動に関連すると思われる地震はありません。
- ・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）
GNSS^注連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

注）GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所、（震）：東京大学地震研究所、（新）：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図
（GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。）

図 2 新潟焼山 山頂部の状況
（9 月 22 日 焼山温泉監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 10 月分）は平成 27 年 11 月 10 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

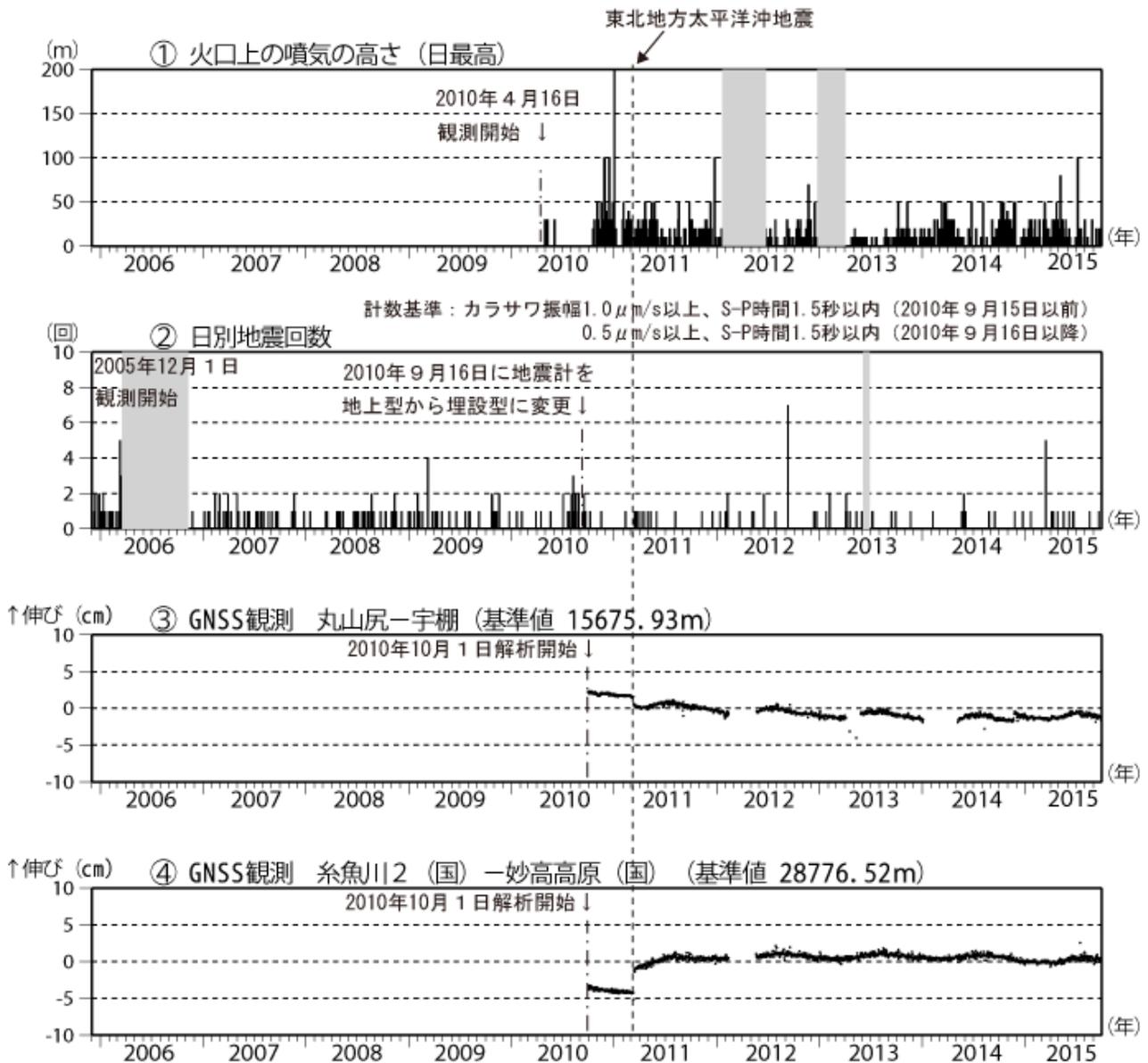


図3 新潟焼山 火山活動経過図(2005年12月1日~2015年9月30日)

- ・ 定時観測(09時・15時)による日別最高の噴気の高さ
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ GNSS連続観測結果 (国): 国土地理院
- ・ の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ は、図1のGNSS基線 に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

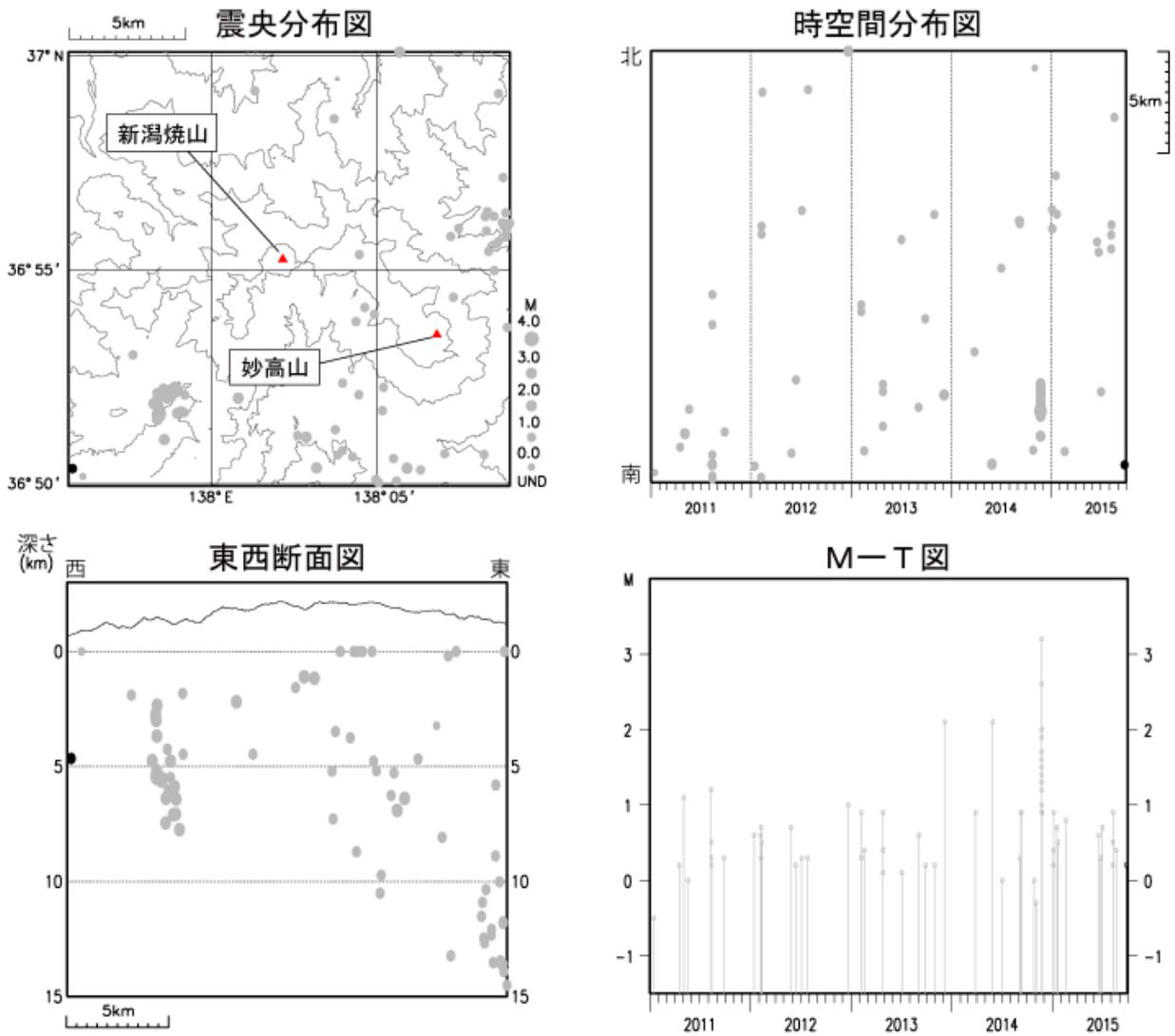


図4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年1月1日~2015年9月30日)

：2011年1月1日~2015年8月31日 ：2015年9月1日~9月30日

今期間、火山活動に関連すると思われる地震はありません。

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。